



平成 22 年 10 月 15 日

各 位

ブリヴェ企業再生グループ株式会社  
 代表取締役(CEO) 松村 謙三  
 (JASDAQ・コード番号 4233)  
 問合せ先 取締役 辻 一馬  
 (TEL. 03-6230-0150)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績見通し（連結・個別）  
 及び特別損失計上（個別）に関するお知らせ

当社の連結・個別業績につきまして、現時点における平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の見通しが、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の実績値と比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績見通し（平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間実績 (A)	6,547	△550	△553	△695
平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間見通し (B)	4,822	△611	△613	△764
増減額 (B) - (A)	△1,724	△60	△59	△69
増減率	△26.3%	—	—	—

当第 2 四半期連結累計期間売上高見通し 48 億 22 百万円と平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間実績 65 億 47 百万円との差異は、カー用品事業を平成 22 年 3 月 31 日付けで終了したことにより当該事業に係る売上高の計上がなかったこと及びロジスティックス事業において物流量の減少の影響などを受け売上高が減少したことを主な要因としております。

当第 2 四半期連結累計期間の利益面につきましては、営業利益が△6 億 11 百万円、経常利益が△6 億 13 百万円、四半期純利益が△7 億 64 百万円の見通しとなりました。平成 22

年3月期第2四半期連結累計期間の営業利益△5億50百万円、経常利益△5億53百万円、四半期純利益△6億95百万円との差異は、グループ全体でコスト削減等の経営効率化を図ったものの、新株予約権の発行費用や売上拡大のための販売促進費・広告宣伝費などの計上により営業費用が増加したことを主な要因としております。

2. 平成23年3月期第2四半期累計期間の個別業績見通し（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成22年3月期第2四半期累計期間実績 (A)	128	△725	△718	△902
平成23年3月期第2四半期累計期間見通し (B)	65	△820	△825	△916
増減額 (B) - (A)	△63	△94	△106	△14
増減率	△49.2%	—	—	—

当第2四半期累計期間営業収益見通し65百万円と平成22年3月期第2四半期累計期間営業収益実績1億28百万円との差異は、上場株式等投資事業を営む子会社宛の貸付金残高減少にともなう金融収益の減少を主な要因としております。

当第2四半期累計期間の利益面につきましては、営業利益が△8億20百万円、経常利益が△8億25百万円、四半期純利益が△9億16百万円の見通しとなりました。平成22年3月期第2四半期累計期間の営業利益△7億25百万円、経常利益△7億18百万円、四半期純利益△9億2百万円との差異は、コスト削減等の経営効率化を図ったものの、新株予約権の発行費用などの計上により営業費用が増加したことを主な要因としております。

3. 特別損失の計上（個別）

資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等90百万円を特別損失として計上いたしました。

（注）当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想は開示しておりません。業績予想の見通しに関する開示につきましては、当第2四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から1週間を目処に、前第2四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。  
なお、上記の見通し数値につきましては、現時点での合理的な判断による見通し額であり、最終的な確定数値とは異なる可能性があります。

以上